

令和2年度 第2回成田市公民館運営審議会 会議概要

1. 開催日時

令和3年1月29日(金) 午後2時から午後3時20分まで

2. 開催場所

成田市赤坂1丁目1番地3 成田市中央公民館 講堂

3. 出席者

(委員)

山内一浩委員、高木麻由子委員、中山昭子委員、葛生泰子委員、

佐々木有希委員、宮本真由美委員、木川義夫委員、長澤成次委員

(事務局)

関川教育長、田中教育部参事、谷平公民館長、一鍬田管理係長、高橋事業係

長、大須賀主査、萩原副主査、長谷部主任主事

4. 傍聴者 0人

5. 議事

(1) 家庭教育支援事業の活性化について(諮問)

6. 報告事項

(1) 令和2年度公民館の主催事業の進捗状況及び令和3年度公民館の主催事業について

(2) 令和2年度公民館の主要工事の進捗状況及び令和3年度公民館の予算要求案、主要工事について

(3) 公民館の運営について

【議事 (1) について】

要旨：「家庭教育支援事業の活性化について」の諮問文を木川会長に手渡し、館長より諮問内容について説明。その後、意見交換と質疑応答を行った。

(山内委員)

来年度実施を予定している家庭教育支援事業のうち、「たけのこ親子広場」という八生公民館で開催されているものが載っているが、これは八生地区の方だけが参加できるのか、それとも市全体で参加者を募集しているのか。また、同内容の事業を他の公民館で実施する予定はあるのか。

(事務局)

たけのこ親子広場に限らず、成田市公民館事業は主に広報なりたで募集をしていることもあり、八生地区以外の住民からも参加者を募っている。

また、同内容の事業を他の公民館で実施する予定はあるかという質問について、同じ対象範囲のお子様を呼ぶ事業は、この八生公民館の事業1つとなっている。

(高木委員)

開催事業の広報の方法は主に広報なりたと言っていたが、1歳から4歳のお子さんを持つ親の世代である20代から40代の方は新聞を取る方も減っている。広報なりた以外で考えている広報の方法はあるか。

(事務局)

中心は広報なりたであるが、ホームページにも掲載を行っている。その他、紙新聞のようなものを配布しようと準備をしている。

(高木委員)

公民館主催事業を知らない方も多くいるので、例えば福祉館で行っている乳児検診等で紙媒体を配布したり、子ども広場や図書館で掲示したり、または最近はSNSが流通しているので、そのような方法も検討すると更に多くの人に参加できるのではと思った。

(事務局)

前向きに検討していきたい。

(宮本委員)

少し議題から逸れるが、高木委員へ「なりすく」の編集について伺いたい。どうい

う子どもたちが対象なのか、また発表の頻度等を教えてほしい。

(高木委員)

「なりすく」とは、子育て支援課が運営している子育てに特化したサイトである。子育て支援課が成田市民からみた成田市の子育て情報をブログのような形で発信しようと編集員を募集し、月1回会議をしながら記事を更新している。

例えば、子連れでも行きやすいごはん屋さんの紹介をしている。今後、編集員が実際に公民館主催事業に参加してみて、体験記を掲載したり、開催される前に募集を載せるというようなことは「なりすく」でできると思う。

(宮本委員)

紙媒体では出していないのか。

(高木委員)

紙媒体では出していない。あくまでも成田市の子育て支援サイトの一部ということやホームページや携帯からの方が気軽に見られる子育て世代が多いことからこのような発信方法を行っている。

(宮本委員)

更新は月1回か。

(高木委員)

月2~3回を目標としているが、最近はコロナでなかなか集まりづらく、頻度は少し減っている。

(佐々木委員)

事務局に伺いたい。この諮問内容のターゲットは、子育て世代とのことだが、大体何歳くらいを想定しているのか。

(事務局)

明確な定義というのは国でも示していない。成田市に限らず、公民館では大体、乳幼児から中学生のお子さんを持たれている保護者の方を対象にした事業を展開していることが多い。

(佐々木委員)

家庭教育支援事業として載っているものを見ると、幼児のお父さんとお母さんへ

の事業に偏っている感じを受けてしまった。対象の年齢層を小学生や中学生に向けたプログラミング事業等があればいいなと思った。

(事務局)

頂いた意見を参考に、子育てをされている親御さんに向けてターゲット層を広げ早急に事業展開ができるようにしたい。

(中山委員)

私を感じる公民館の利用者層として、高齢者や本当に小さな幼児が遊んでいる光景しか目にしない。

もっと公民館は親のため、子どものためになるということを発信したり、その場を提供したりしてくれたらうれしいなと思う。

(山内委員)

学校の立場から考えると、学校には保護者を対象とした「家庭教育学級」というものを生涯学習課の運営で行っている。成田市にはこのように様々な立場からの家庭教育支援事業があることから、公民館としての「家庭教育支援事業」はどういった部分をターゲットにしているのかを明確にしていった方がいいのではと思った。

(議長：木川委員)

どのように答申を作成していくのか長澤委員にご意見を伺いたい。

(長澤委員)

様々な自治体の公民館運営審議会に関わってきたが、その審議会に合致したやり方で答申を作成していけばよい。重要なのは、諮問事項について勉強会等を開催し議論することである。

(議長：木川委員)

長澤委員からのご意見の通り定期的に諮問事項について、勉強会を開催する。

(宮本委員)

この諮問事項の答申時期の想定はいつ頃か。

(事務局)

次回、7月の公民館運営審議会の時に中間答申をいただき、1月に正式な本答申という形でいただきたい。

【報告事項(1)について】

要旨：令和2年度公民館の主催事業の進捗状況実績として、コロナの影響で実施見合わせとなった事業とその中でも10月から感染対策に十分に留意しながら行っている座学や郊外型学習の講座を説明。

令和3年度公民館主催事業については、地域課題や生活課題に柔軟に対応できるよう事業予定を前期・後期に分け、後期には年度に入ってから明らかになった問題に対してスピード感を持って対応できるよう詳細を定めない枠を作ったと説明。

(委員)

意見なし。

【報告事項(2)について】

要旨：令和2年度に行った主要工事・令和3年度予算案及び主要工事を説明。施設管理の面からも多くの皆様に安全に安心して利用いただける公民館管理に務めると説明。

(委員)

意見なし。

【報告事項(3)について】

要旨：成田市公民館の予約方法が変更になったことについて、1月より行った令和3年4月分の抽選予約・受付・機械抽選・当選結果確認の一連の流れが滞りなく進んだことを報告。また、インターネットを利用した今回の抽選参加は、全申込数の約35パーセントとなり、公民館利用者の負担軽減に繋がった。これからも公民館の利便性向上に努めていくと説明。

(委員)

意見なし。